

※2010年4月 メディア表現学科は「まんが表現学科」「映像表現学科」に改組計画中です。

選考方法

- ① **エントリーシート** 志望動機などを600字以内で、自由に記述してください。
- ② **実習体験** 教員の指導にしたがって、グループで作品をつくります。
(グループワーク) 実習体験2日目に、与えられたテーマにそってレポートを作成します。

実習体験の例

いくつかのモチーフ(素材)を使って、グループで議論しながら、個人の作品として成果を生み出していきます。テーマ(当日発表します)を構成するモチーフ(素材)として、写真や映画、まんがの一コマといった断片の集合が示されます。数々の断片に対峙しながら、グループで話し合い、そのなかから何枚かを選び出し、世界観やキャラクターの設定を行い、物語の構成を決定します。そして、1つのまとまりをもった作品をつくり上げます。そのとき、自分1人で制作するのではなく、他のメンバーに意見を聞いて、作品を生み出すことを前提とします。

資料を再構成(合成、加工)するために、グループのみんなで協力して、写真スタジオ、映画スタジオ、アニメーションスタジオを、縦横無尽に使用してください。作品制作後、グループ単位で簡単なプレゼンテーションを予定しています。

※写真は2009年度 メディア表現学科で実施したものを掲載



●グループ討議



●制作風景



●グループでのプレゼンテーション

- ③ **面談** 実習体験での経験をもとに、面談を行います。まずは、実習体験での印象や感想を述べてください。そうした会話をきっかけに、お互いの理解を深めるとともに、本人の適性や意欲、秘められた可能性などを見出すことを目的とします。自分をアピールできる効果的な自己PR資料(作品に限らず、どのような形式のものでもかまいません)を持参してください。

評価方法

上記選考項目を総合的に評価します。
※実習体験で制作した作品は、評価の対象とはなりません。

選考方法

- ① **エントリーシート** 志望動機などを600字以内で、自由に記述してください。
- ② **持参作品** 自分をアピールできる効果的な作品(どのような形式のものでもかまいません)を持参してください。
- ③ **面談** 教員と受験生、お互いの理解を深めるとともに、本人の適性や意欲、秘められた可能性などを見出すことを目的とします。

評価方法

上記選考項目を総合的に評価します。